

令和6年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができている。
- 文の中における主語と述語との関係を捉えることができている。
- 漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

【算 数】

- 除数が小数である場合の除法の計算をすることができている。
- 直径の長さ、演習の長さ、円周率の関係について理解できている。
- 角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述することに課題がある。
- 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 授業や学校生活で、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
- 国語・算数・英語の学習を大切だと思っている児童が多い。
- 毎日、同じぐらいの時刻に寝ていない児童がいる。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があつた取組

- ・低学年担任や担外の教師の協力を得て、第3学年～第6学年の「A 数と計算」領域に重点を置いた習熟タイムの実施(学期に1回以上)
- ・ICTの利活用(教師による教材提示、考えを共有するアプリの有効活用、習熟など)

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・全国学力・学習状況調査の分析結果を踏まえた研修や各学年における授業改善の推進
- ・様々な学習で、条件に合わせた作文やまとめを書くなど、自分の考えを書く活動の設定
- ・朝タイムの時間を活用した、国語科や算数科〔知識及び技能〕内容の習熟学習の継続

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があつた取組

- ・1単位時間における目的のある話し合い活動の設定、学校生活の中で主体的な係活動や委員会活動の充実
- ・国語科や算数科の授業において、自力解決や話し合い活動、まとめ等の時間の確保

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・重点目標を児童自身が決めて取り組む「家庭学習強化週間」の設定
- ・通信や懇談会等、家庭学習や家庭生活に関する内容の保護者への啓発